



©Shoichi Ono

老人看護専門看護師の活動

2017年9月の総務省調査では、日本の65歳以上の高齢者人口は3514万人、総人口に占める割合は27.7%とともに過去最高を更新しており、主要国のなかでは最高の高齢者割合となっています。老人看護専門看護師は、医療施設、介護施設、在宅等、高齢者に関わる様々な場所や教育機関で活動しています。私たち老人看護専門看護師は、日々のケアの中で、疾患や問題に焦点を当てた医学モデルの視点に加えて、生活の視点をもち、高齢者を意思ある人として尊重し、多職種チームで高齢者の意思を汲み取り、家族とともに最善を考え、支えることを大切にしています。たとえば、身体とこころの健康維持・増進、せん妄や低栄養、褥瘡、脱水等に対する予防的な介入、継続的な話し合いを重ね、看取りまでを見据えた退院支援。また、いずれ訪れる死が高齢者とその家族にとって、「安らかで美しい最期」「納得でき心残りが少ない最期」となるように、人生最終段階のケア（エンド・オブ・ライフ・ケア）の実践に取り組んでいます。

2025年問題といわれる、団塊世代の後期高齢化に伴う超高齢多死社会が抱えるさまざまな問題に対し、それぞれが置かれている組織・立場において専門看護師の6つの役割を駆使しながら活動しています。

老人看護専門看護師は 高齢者に関わる様々な場で 活動しています！

- ・医療施設（急性期病院、療養型病院、リハビリテーション病院、診療所など）
- ・介護施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、小規模多機能型居宅介護など）
- ・訪問看護ステーション
- ・教育機関（大学、看護学校など）

▶登録者の情報は、日本看護協会HPをご参照ください。 <http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/cns>

<http://jpncons.org/>

活動内容

▶多職種・地域で最善のケア実践ができる 基盤づくり

- ・せん妄や摂食嚥下障害など高齢者に起こりやすい問題に介入する多職種チームづくり
- ・日々のケアを大切に考えたケア改善・業務改善
- ・高齢者・家族の意思を支え、看取りを見据えた退院支援システム
- ・高齢者の意思をともに支えるための関連病院へのアウトリーチ活動

▶エンド・オブ・ライフにおける高齢者ケア

- ①高齢者の看取りの研修会の開催
- ・高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケアの研修会講師
 - ・高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケアの研修プログラムの開発と普及活動

②市民への普及活動

- ・高齢者対象「生き生き教室の開催」「シルバー講座」など講師

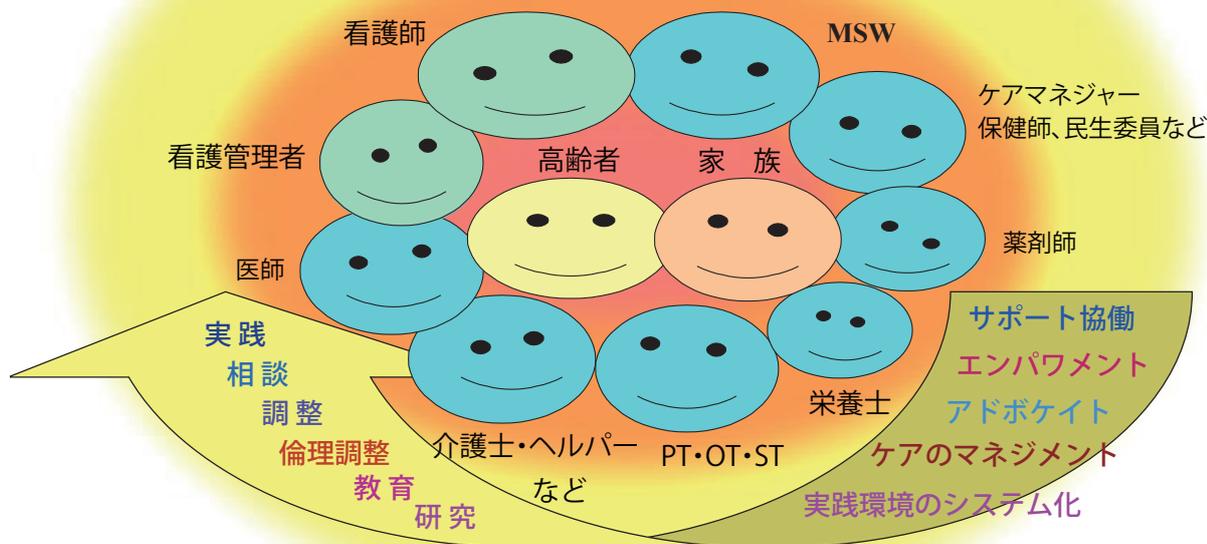
▶認知症ケアの充実

- ・認知症ケアチームの活動
- ・物忘れ外来での看護相談
- ・認知症家族講座、認知症家族会を通じた家族支援
- ・早期発見・早期対応を目指した認知症対応力向上研修の講師など

▶スタッフへの支援

- ・組織内外での教育研修の企画及び実施、キャリア開発教育
- ・新人看護職研修の企画、運営
- ・看護研究、学会報告の支援 など

高齢者の“意思”を尊重し
「最期まで“人間らしく”過ごせる」ことを支援します



アメーバのように姿を変え、高齢者と家族(介護者)、高齢者を支える人のために働く

老人看護専門看護師の動き

老人看護CNSが考えるこれからの課題

超高齢多死社会において老人看護専門看護師に求められる役割は大きく、国民のニーズにこたえ、高齢者個々にふさわしい適切な医療が提供できる仕組みづくりが求められています。そこで、老人看護専門看護師として老人看護の専門性がみえる活動や社会への提言を行い、老いや病と向き合う高齢者が人生最後のその時を人間らしく、その人らしく過ごせることを支援していきたいと考えています。

老人看護専門看護師の雇用や活動に関する情報提供や相談を希望される方は、
一般社団法人日本専門看護師協議会事務局 (jpncons-jimu@jpncons.org) までご連絡ください。



Japanese Association of Certified Nurse Specialist

一般社団法人日本専門看護師協議会 <http://jpncons.org/>